

体育・保健体育科における「保健」の授業改善

保健体育課

保健の授業における成果と課題

体育科、保健体育科における平成 21 年改訂の学習指導要領の成果と課題については、平成 28 年 12 月の中央教育審議会答申において次のように示されています。

【成果】 子供たちの健康への大切さへの認識や健康・安全に関する基礎的な内容が身に付いている。

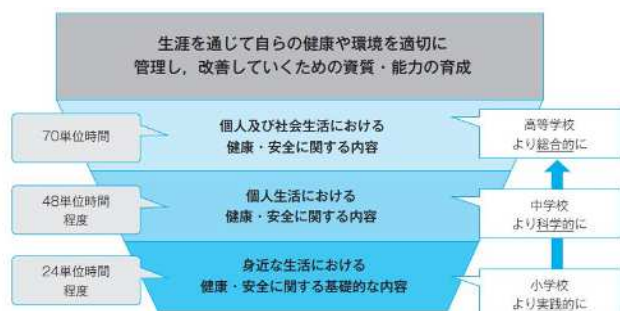
【課題】 健康課題を発見し、主体的に課題解決に取り組む学習が不十分であり、社会の変化に伴う新たな健康課題に対応した教育が必要である。

上記のような課題が挙げられる中、課題が何かをしっかりと捉えることが重要である。また、課題解決につながる授業改善が重要です。

授業づくりの視点（小・中・高 保健）

「保健」は、健康・安全に関する基礎的・基本的な内容を生徒が体系的に学習することにより、健康課題を認識し、これを科学的に思考・判断し、適切に対処できるようにすることをねらいとしており、生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培うものです。

したがって保健の指導に当たっては、健康課題を解決する学習活動を重視して、思考力、判断力、表現力等を育成していくとともに、「保健」で身に付いた知識及び技能を生かすことができるように健康に関する関心や意欲を高めることが重要です。



【保健における体系イメージ】

「生きる力を育む小学校保健教育の手引」より

主体的・対話的で深い学びに重点を置いた保健の授業改善チェックポイント

- 子供たちが見通しを持って粘り強く取り組み、自らの学習活動を振り返って次につなげる、主体的な学びの過程が実現できているかどうか。
- 他者との協働や外界との相互作用を通じて、自らの考えを広げ深める、対話的な学びの過程が実現できているかどうか。
- 習得・活用・探究という学習プロセスの中で、問題発見・解決を念頭に置きつつ、深い学びの過程が実現できているかどうか。

期待できる児童・生徒の姿（例）

- 課題の解決に向けて、何度も粘り強く取り組み子供同士の対話を通して、自己の思考を広げたり、深めたりしている。また、健康についての課題を発見し、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、考えを深めている。

保健の授業における指導方法の工夫

保健の指導に当たっては、健康に関心をもてるようにし、健康に関する課題を解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫を行うとともに、身近な日常生活の体験や事例などを題材にした話合い、思考が深まる発問の工夫や思考を促す資料の提示、課題の解決的な活動や発表、ブレインストーミング、けがの手当などの実習、実験などを取り入れること、また、必要に応じて地域の人材の活用や養護教諭、栄養教諭などとの連携・協力をするなど多様な指導方法の工夫を行うよう配慮することが大切です。

保健の授業に役立つ参考資料



「改訂『生きる力』を育む
保健教育の手引」
(小・中・高等学校)



「保健教育の指導と評価」
(令和4年度版)